

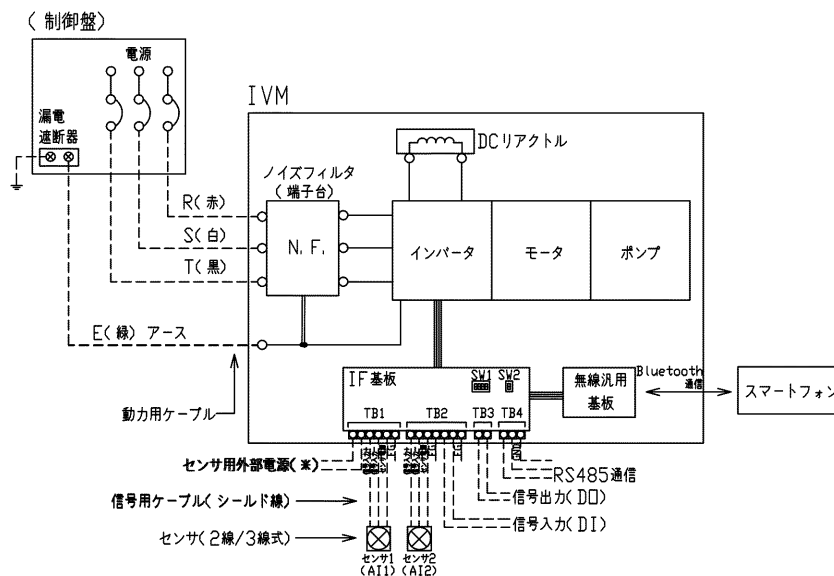
インバータ内蔵永久磁石同期電動機搭載型エバラポンプ EBARA PUMP with inverter built-in pm motor

適用範囲 APPLICATION
LPDV
FSDV
LPSV

制御盤
CONTROL PANEL

[結線図例]

*センサ用外部電源が必要な場合は、お客様にてご準備いただき、IF基板のTB1_1に+, TB1_2にGNDを接続してください。
---破線はお客様接続範囲を示します。



[結線上の注意]

アース端子は必ず接地してください。機器の接地を誤ると、本体との接触による感電や火災の恐れがあります。インバータが発生するノイズが他機器に影響を及ぼす恐れのある場合と、周囲の機器より発生されるノイズによりインバータが誤動作する恐れのある場合には、下記のような対策が必要です。

- 1) 入力ケーブルを伝って他機器に影響を与える恐れのある場合
 - ・インバータのアース線を他機器のアース線と分離する。
 - ・インバータと他機器の電源を絶縁トランスで分離する。
- 2) 誘導または輻射により他機器に影響を与える恐れのある場合
 - ・インバータの入力ケーブルと他機器の配線とを分離する。
 - ・インバータの入力ケーブルを金属管に納めその一端を接地する。

信号ケーブルを使用する場合にはシールド線を使用してください。

漏電遮断器を選ぶ時は高調波成分の影響を受けないものを選定してください。

また、漏電遮断器の定格電流は、ポンプ定格電流の1.6倍程度のものを選定してください。

力率改善には進相コンデンサを設置しないでください。進相コンデンサを設置すると、コンデンサに高調波成分を含んだ電流が流れ、コンデンサに悪影響を与える場合があります。

インバータの入力側はコンデンサ回路のため、わずかな相電圧アンバランスでも大きな電流アンバランスを引き起こします。電源状態をご確認ください。相間電圧アンバランス3%以内。

自家発電機でインバータを運転させると、インバータの入力高調波により自家発電機の巻線に誘導電流が流れ熱を持ちます。

自家発電機によって本ポンプを使用する場合、発電機容量はインバータ定格容量の3倍としてください。

|||| ||||

御注文主 CUSTOMER		機器番号 ITEM NO.	
御使用先 FINAL USER		機器名称 ITEM NAME	
荏原製番 SER. NO.	機名 MODEL	吐出し量 CAPACITY	全揚程 TOTAL HEAD
		同期速度 SPEED	出力 OUTPUT
		数量 QTY	



EBARA

EBARA CORPORATION

図番 DWG. NO. WIVM-001 000

WIVM-001

000
240528